

令和7年度 教育研究推進計画

学校教育目標

- 小中一貫教育目標 : 自ら学び 考え 自立した行動ができる生徒の育成
- 吉舎中学校教育目標 : 志高く学び 吉舎に貢献する生徒の育成

1 研究主題

自分の考えをもち、主体的に学びに向かう生徒の育成
～書く・説明する活動を取り入れた授業づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

本校の中学校区では、小中一貫教育目標を「自ら学び 考え 自立した行動ができる生徒の育成」とし、生徒一人一人が自分の思いを表現することができる学校づくりを目指して取り組みを進めている。また、吉舎中学校区において育てたい資質能力を「主体性」「コミュニケーション能力」「志向性」とし、様々な教育活動を通して育成していくことを目指している。

昨年度、本校は「知識・技能を活用し、自らの考えを表現する力の育成～主体的・対話的で深い学びができる授業づくりを通して～」をテーマに研究してきた。表現する力について、中学校の生徒アンケートでは「いろいろな場面で、自分の思いを表現する力が身に付いてきたと思う」「1分間スピーチを通して表現する力が伸びたと感じている」、「HR の話し合い活動を通じて表現する力が伸びたと感じている」では、いずれも 90%以上の割合で肯定的評価だった。一方で、令和6年度全国学力・学習状況調査において、国語科の「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうか」の問題では、正答率が 26.7%(全国が 44.0%)と全国よりも 17.3%下回る結果となった。同調査の数学科では、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうか」の問題では 26.7%(全国 34.4%)、「統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうか」の問題では 33.3%(全国 41.8%)と、どちらも全国の正答率よりも 7%以上下回る結果となった。これらのことから、本校の課題は「情報と情報の関係を理解したり、その情報を使って説明したりすること」であることが分かった。

この課題を改善するために、主に以下の2点に取り組む。1つ目は、自分の考えをもち、主体的に学びに向かうことができる授業づくりである。自分の考えをもつために、日々の授業において、必要な情報を読み取り、既習事項や他教科、身近な出来事などに関連付けて考えることができる授業づくりを行う。また、それらを整理するために書く・説明する活動を取り入れる。2つ目に、主体的で前向きに表現をする学校風土の醸成である。HR や学校行事において表現する多様な機会を設定し、自分の考えを主体的で前向きに表現することに対する基盤づくりを継続する。これらのことを通して、主体的に学びに向かう生徒を育成することができると考え、研究主題を設定した。そして、次年度以降では自分の考えと他者の考えを照らし合わせて深め、対話が生まれ、指摘し合いながら深い学びへとつながっていく生徒の育成を目指していく。

3 研究仮説

- 既習事項や他教科、身近な出来事などに関連付けて考え、生徒が自分の考えをもつことができる授業づくりをすることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになる。また、昨年度に引き続き日々の授業や家庭学習、HR の帯タイム等においての取り組みを行うことで、自分の考えを主体的で前向きに表現することに対する基盤をつくることができる。これらのことを通して、主体的に学びに向かう生徒を育成することができる。

4 研究の概要と検証計画

〈概要〉

(1) 自分の考えをもち、主体的に学びに向かうことができる授業づくり

- ・自分の考えをもつことができる。

生徒にとって「何を学ぶのか」「何を考えるのか」が明確で、自分の考えをもつことができる。

- ・書く・説明する活動を取り入れる。

既習事項や他教科、身近な出来事などに関連付けて考え、自分の言葉で書く・説明する活動を取り入れる。

(2) 主体的で前向きに表現をする学校風土の醸成

- ・HRで「1分間スピーチ」,「質問タイム」の実施
- ・「表現」する多様な機会の設定

授業、学校行事（体育祭、文化祭、きさ教育の日、立志式等）や生徒会活動の充実

(3) 個に応じた指導

- ・指導方法や教材、教具の工夫、ICTの活用
- ・中間試験、期末試験週間に合わせた学習計画表作成
- ・家庭学習のパターンを提示

〈検証計画〉

○各種学力・学習状況調査

○生徒アンケート（7月、12月）

「授業でじっくり考えたり、自分の意見を言うことができる。」

5 研修計画

- (1) 校内研修会 ・全教職員、年間1回以上の授業研究会の実施。
 ・外部講師の招聘による授業研究と研修

(2) 小中連携授業研究会

(3) 年間を通じた継続的な取組の実施（1分間スピーチ、班の話し合い）

(4) 学校行事における育成したい生徒像と関連付けた指導の実践

6 具体的な取組

月	実施内容	備考
4	計画立案	
5	小中合同研修会（研究方針の確認）（5/13 吉舎中学校）	
5（～2）	校内授業研究会（全員一人1回実施）	三次市教育委員会指導主事招聘
6	★小中合同授業研究（6月吉舎中学校）	
6	授業参観ウィーク	
7	生徒アンケート	
8	小中合同研修会授業提案に向けて校内研修	
10	★小中合同授業研究（10月吉舎小学校）	
12	生徒アンケート	
2	事務局会 アセスメント調査 小中合同研修年度末総会（今年度のまとめ等）（2/15）	
3	次年度に向けた計画の見直し・改善	